

エコアクション

環境経営レポート

（運用期間：令和5年6月～令和6年5月）



柏池堤体工事



恵良川災害復旧工事

発行日：令和6年8月2日

自然と人が共存できる未来に向けて ——



株式会社野村建設

目 次

環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・ P1
組織と事業活動の概要（対象範囲）	・ ・ ・ ・ ・ P2
実施体制	・ ・ ・ ・ ・ P3
環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・ P4
環境経営計画	・ ・ ・ ・ ・ P5
SDG s の取り組み	・ ・ ・ ・ ・ P6
環境経営計画の取り組み	・ ・ ・ ・ ・ P7
環境経営目標実施結果の評価	・ ・ ・ ・ ・ P8
環境経営計画取り組みの評価	・ ・ ・ ・ ・ P9
環境経営関連法規登録簿／遵守評価記録	・ ・ ・ ・ ・ P10
代表者による全体評価と見直し結果	・ ・ ・ ・ ・ P11

環境経営方針

《基本理念》

弊社は、「自然と人々が共存できる未来に向けて」をテーマに、全ての事業活動において、環境問題に対する継続的改善の必要性を一人一人が認識し、環境負荷の低減と地域の環境保全に対する活動を自主的・積極的に取り組んでまいります。

《環境経営行動指針》

1. 受注を高めながら、効率の良い二酸化炭素排出量の削減を目指します。
2. 廃棄物の排出抑制、リサイクルを推進します。
3. 水資源を大切にするため、節水に努めます。
4. 環境経営に配慮した技術の提案及び施工を行います。
5. 事業所周辺の環境経営に考慮した地域貢献活動に取り組みます。

上記の環境経営方針に基づき、環境経営目標・計画を定め、定期的に見直し、継続的な改善を行います。また、環境経営関連法規制を遵守し、この方針を全従業員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日： 平成 28 年 4 月 19 日

改定日： 令和 2 年 6 月 1 日

自然と人々が共存できる未来に向けて ——



株式会社野村建設

代表取締役 野村 竜治

組織と事業活動の概要（対象範囲）

《組織の概要》

- (1) 会社名 株式会社 野村建設
 代表者 代表取締役 野村竜治
 創業 昭和47年3月23日
 設立 昭和57年7月3日
 資本金 2,000万円



(2) 所在地

- 本社 〒872-0481 宇佐市院内町下恵良793-1
 大分営業所 〒870-0911 大分市新貝11-27 WINDOM高山101
 作業所・倉庫 〒872-0481 宇佐市院内町下恵良7
 太陽光発電所 〒872-0481 宇佐市院内町下恵良137-1
 (容量: 240W × 1,092枚 = 262.1kW)

電話 0978-42-6173
 電話 097-574-6631

(3) 環境経営管理責任者及び連絡担当者（事務局）及び連絡先

- 環境経営管理責任者 野上 修司（常務）
 環境経営担当者（事務局）永田 涼司（営業部長）
 電話 0978-42-6173 F A X 0978-42-6642 E-mail nomurakk@nomuken.co.jp

《事業活動》

(1) 総合建設業

- 許可番号 大分県知事許可（特・般一6）第2864号
 許可年月日 令和6年7月27日
 許可業種

土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、ぼ装工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、造園工事業、建具工事業、水道施設工事業、管工事業、解体工事業

(2) 事業規模

売上高 781百万円（令和5年度）

	全社	本社	大分営業所	本社倉庫・作業所	太陽光発電所
従業員（名）	29	25	4	0	0
延べ床面積（㎡）	6072.99	185.72	52.75	1794.52	4040.00

(3) 事業年度

期首 6月 期末 翌5月



《対象範囲》

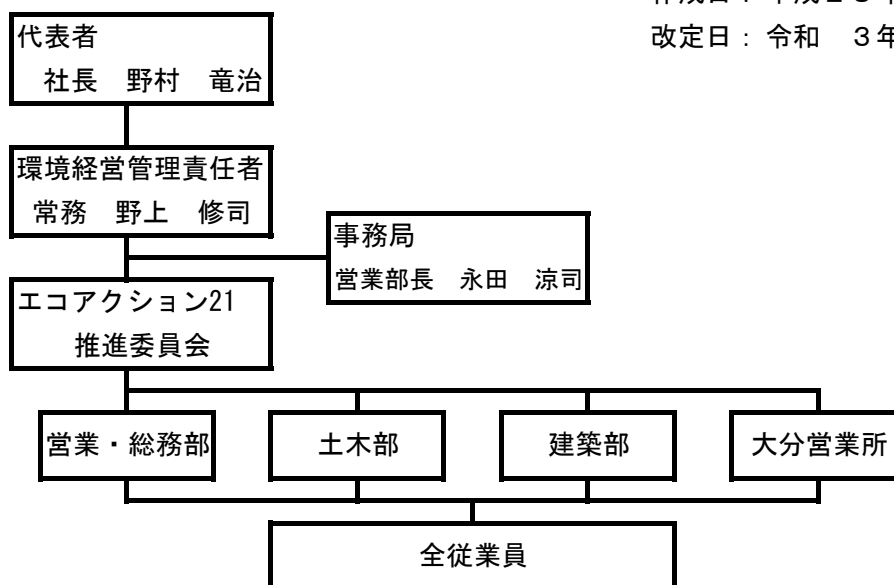
- 全組織
 全事業活動（総合建設業、建築住宅業、太陽光発電事業）

実施体制

組織図

作成日：平成28年 4月19日

改定日：令和 3年 6月 1日



役割、権限、責任

代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境経営管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営における課題とチャンスを確認にする。 ・環境経営レポートの承認
環境経営管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境経営関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境経営上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境経営管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境経営関連文書、記録の管理 ・環境経営に関する実績のとりまとめ ・外部環境経営コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営に関する意見交換
部門長 現場責任者	・自部門における環境経営の実施 ・自部門における環境経営の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境経営に参加する

環境経営目標

中期環境経営目標（令和4年度～令和6年度）

環境経営 方針番号	選択課題		基準年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			直近3ヶ年の実績平均値	目標値	目標値	目標値
			(単位)	(基準年度比)	(基準年度比)	(基準年度比)
1	二酸化炭素排出量の削減	合計	189,553	187,656	186,543	185,428
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△1.6%)	(△2.2%)
		事務所	33,410	33,073	33,012	32,951
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△1.2%)	(△1.4%)
		現場	156,143	154,583	153,531	152,477
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△1.7%)	(△2.3%)
1-1	電力使用量の削減	合計	48,198	47,716	47,234	46,752
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	16,619	16,453	16,287	16,120
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		現場	31,579	31,263	30,947	30,632
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-2	ガソリン使用量の削減	合計	32,304	31,981	31,981	31,981
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
		事務所	10,514	10,409	10,409	10,409
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
		現場	21,790	21,572	21,572	21,572
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
1-3	灯油使用量の削減	合計	1,302	1,290	1,290	1,290
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
		事務所	1,160	1,148	1,148	1,148
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
		現場	143	142	142	142
			(ℓ)	(△1%)	(△1%)	(△1%)
1-4	軽油使用量の削減	現場	36,321	35,958	35,595	35,231
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1-5	ガス使用量の削減	事務所	21	20	20	20
			(kg)			
2-1	産業廃棄物再資源化率の向上	全体	96	96	96	96
			(%)			
2-2	一般廃棄物再資源化率の向上	全体	63	70	70	70
			(%)			
3	水使用量の削減	全体	137	134	134	134
			(m ³)	(△2%)	(△2%)	(△2%)
4	環境に配慮した施工 (苦情・是正指導等の件数)	現場	0	0	0	0
			(件)			
5	社会貢献への参加	全体	7	8	8	8
			(件)			

※ 令和2年度の九州電力二酸化炭素実排出係数：0.365kg-CO₂/kwhを用いて算定しています。

環境経営計画

目標課題

具体的活動

対象部門

責任者

1 二酸化炭素排出量の削減			
1-1 電力使用量の削減	①不必要時の消灯の徹底	全部門	永田涼司
	②ＯＡ機器の節電モードの徹底	全部門	
	③フィルター等の定期的な清掃	全部門	
	④不必要なプラグは抜き待機時消費電力を抑える	全部門	
	⑤残業や休日出勤等を減らす	全部門	
1-2 ガソリン使用量の削減	①法定速度の遵守し急発進や空ぶかしをしない	全部門	野上修司
	②不必要なアイドリングをしない	全部門	
	③不要な荷物を積み込んだままにしない	全部門	
	④適切な車輛の整備（空気圧、オイル交換等）	全部門	
	⑤数人数の車利用は乗り合わせに心掛ける	全部門	
1-3 灯油使用量の削減	①室温を必要以上に高く設定しない	全部門	永田涼司
	②フィルター等の定期的な清掃	全部門	
	③計画的な灯油購入の策定	全部門	
	④ウォームビズの推進	全部門	
1-4 軽油使用量の削減	①法定速度の遵守し急発進や空ぶかしをしない	現場部門	野上修司
	②過負荷や過積載をしない	現場部門	
	③適切な重機・車輛の整備（空気圧、オイル交換等）	現場部門	
	④頻繁な重機回送をなくし効率の良い使用を行う	現場部門	
	⑤重機及び特殊車両以外のディーゼル車の廃止	現場部門	
1-5 ガス使用量の削減	①最小限の使用量を目標に計画を策定する	事務部門	永田涼司
	②給湯器の温度を上げすぎない	事務部門	
	③ガス使用機器の定期的な清掃	事務部門	
2 廃棄物再資源化率の向上			
2-1 産業廃棄物再資源化率 向上	①適正なマニフェストの管理	現場部門	野上修司
	②適正な在庫管理	現場部門	
	③廃棄物の分別を徹底	現場部門	
2-2 一般廃棄物再資源化率 向上	①一般のプラスチック製品の購入を減らす	事務部門	永田涼司
	②再利用しやすい製品の購入促進	事務部門	
	③廃棄物の分別を徹底	事務部門	
3 水使用量の削減			
	①最小限の使用量を目標に計画を策定する	全部門	永田涼司
	②現場での飲用水以外の水は極力雨水等を使用する	全部門	
	③乾式手洗いの導入	全部門	
4 環境経営に配慮した施工			
	①振動・騒音の抑制に務め苦情を受けない	現場部門	野上修司
	②燃料消費量の少ない重機や機械を使用する	現場部門	
	③再生資源の材料を優先利用する	現場部門	
5 社会貢献への参加			
	①ボランティア活動の積極的な参加	全部門	野上修司
	②工事現場周辺の自治区への地域貢献	全部門	
	③SDGsの取り組みの参加	全部門	

SDGsの取り組み



㈱野村建設ではSDGs 17項目のうち12項目をそれぞれのターゲット（取組・手段）から抜粋し、具体的な活動を定め取り組んでおります。

3 すべての人に健康と福祉を	抜粋したターゲット（取組・手段） 3.6道路交通事故死傷者を半減させる 活動内容 安全運転管理者のもと、車両等の整備や法定事項の厳守を徹底させ安全運転を行います	10 人や国の不平等をなくそう	抜粋したターゲット（取組・手段） 10.2すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する 活動内容 働きやすい職場環境の整備に努め、職員個人に見合った教育や研修を実施します
4 質の高い教育をみんなに	抜粋したターゲット（取組・手段） 4.7教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする 活動内容 教育訓練や講習等を定期的に実施し、段階的に資格の取得を職員へ提供します	11 住み続けられるまちづくりを	抜粋したターゲット（取組・手段） 11.6大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす 活動内容 廃棄物の分別及び適正なマニフェストの管理に努め、廃棄物のリサイクルを強化します
5 ジェンダー平等を実現しよう	抜粋したターゲット（取組・手段） 5.4無報酬の育児・介護・家事労働を認識・評価する 活動内容 育児及び介護休暇の取得を推進し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境を提供します	12 つくる責任 つかう責任	抜粋したターゲット（取組・手段） 12.2天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する 活動内容 原則として工事には再生材等を利用するなど、再資源化の促進を図ります
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	抜粋したターゲット（取組・手段） 7.3エネルギー効率の改善率を増やす 活動内容 太陽光発電所を設置し、自然エネルギー発電の増量を促進します	13 気候変動に具体的な対策を	抜粋したターゲット（取組・手段） 13.2気候変動対策を政策、戦略及び計画に盛り込む 活動内容 エコアクション21による環境経営目標を定め、二酸化炭素排出量の削減に努めます
8 働きがいも経済成長も	抜粋したターゲット（取組・手段） 8.5雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する 活動内容 労働者派遣事業では無期雇用者を対象とし、労使協定を策定して同一労働同一賃金を定めています	14 海の豊かさを守ろう	抜粋したターゲット（取組・手段） 14.1海洋汚染を防止・削減する 活動内容 一般ごみにおけるプラスチック製品について、極力購入を抑える計画を立て実施しています
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	抜粋したターゲット（取組・手段） 9.4環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる 活動内容 低騒音・低振動及び排ガス規制がなされた重機等に随時切り替え施工しています	16 平和と公正をすべての人に	抜粋したターゲット（取組・手段） 16.4組織犯罪をなくす 活動内容 暴力団対策講習等を定期的に受講し、不当要求防止対策の取り組みを行っています

環境経営計画の取り組み

電力消費量の削減

LED取替状況



電力消費量の削減

エアコン整備状況



燃料消費量の削減

車両点検・整備状況



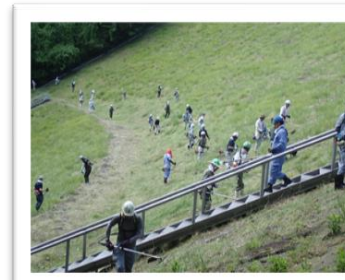
廃棄物再資源化率の向上

分別処理状況



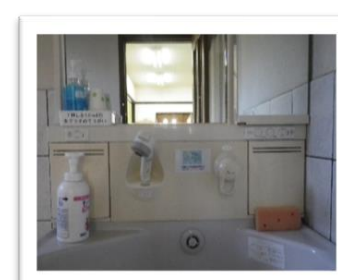
社会貢献への参加

ボランティア活動状況



水使用量の削減

掲示での呼びかけ



環境経営に配慮した施工

自主点検状況



環境経営に配慮した施工

安全会議状況



環境経営目標実施の評価

(年間、令和4年6月～令和5年5月)

項目	基準値	目標値	実績値	結果
1 二酸化炭素排出量削減 (kg-co2)	189,553	186,543	247,613	△
1-1電力消費量削減 (kwh)	48,198	47,234	32,271	○
1-2ガソリン消費量削減 (ℓ)	32,304	31,981	29,763	○
1-3灯油消費量削減 (ℓ)	1,302	1,290	1,151	○
1-4軽油消費量削減 (ℓ)	36,321	35,595	63,508	×
1-5ガス消費量削減 (kg)	21	20	22.4	△
(評価) (達成度 ○・・・100%以上 △・・・70%以上 ×・・・70%未満)				
二酸化炭素排出量削減目標は計画の目標値を達成することができなかった。原因は軽油の使用量増で目標値の倍に近い消費量であった。自らが施工する現場が多く重機やダンプ等の稼働が年間を通して多かったことが要因である。ガスの使用量も若干ではあるが目標値を超えてしまった。しかし、これに対しては目標値の設定が最小で計画しており、かつ、大分営業所でのガス使用が今年に入って始まったことによって生じた差である。必要最小限の使用であったと判断している。その他の燃料消費は計画通りに経過し目標を達成できている。軽油のみが突出した使用量であったが工事を進める上では必須であり軽油以外の燃料は計画通り実行できていることから効率の良い燃料消費が出来ていると判断する。				

項目	基準値	目標値	実績値	結果
2-1 産業廃棄物再資源化率の向上 (%)	96	96	94	△
2-2 一般廃棄物再資源化率の向上 (%)	63	70	74	○
(評価) (達成度 ○・・・100%以上 △・・・70%以上 ×・・・70%未満)				
産業廃棄物再資源化目標において若干目標値を下回ったがほぼ計画通り実行できている。				

項目	基準値	目標値	実績値	結果
3 水使用量削減 (m ³)	137	134	249	×
(評価) (達成度 ○・・・100%以上 △・・・70%以上 ×・・・70%未満)				
現場部門での水使用量が増えたことにより計画していた目標を達成することが出来なかった。				

項目	基準値	目標値	実績値	結果
4 施工に対する苦情・是正指導 (件)	0	0	0	○
(評価) (達成度 ○・・・100%以上 △・・・70%以上 ×・・・70%未満)				
計画通り進み目標を達成できている				

項目	基準値	目標値	実績値	結果
5 社会貢献 (件)	7	8	8	○
(評価) (達成度 ○・・・100%以上 △・・・70%以上 ×・・・70%未満)				
計画通り進み目標を達成できている				

環境経営計画取り組みの評価

活動計画

判定

責任者

評価

電力使用量の削減

①不必要時の消灯の徹底	○	永田涼司	年間を通して、指導・実行できている。
②〇A機器の節電モードの徹底	○		
③フィルター等の定期的な清掃	○		
④不必要なプラグは抜き待機時消費電力を抑える	○		
⑤残業や休日出勤等を減らす	○		

ガソリン使用量の削減

①法定速度の遵守し急発進や空ぶかしをしない	○	野上修司	年間を通して、指導・実行できている。
②不必要なアイドリングをしない	○		
③不要な荷物を積み込んだままにしない	○		
④適切な車両の整備（空気圧、オイル交換等）	○		
⑤数人数の車利用は乗り合わせに心掛ける	○		

灯油使用量の削減

①室温を必要以上に高く設定しない	○	永田涼司	年間を通して、指導・実行できている。
②フィルター等の定期的な清掃	○		
③計画的な灯油購入の策定	○		
④ウォームビズの推進	○		

軽油使用量の削減

①法定速度の遵守し急発進や空ぶかしをしない	○	野上修司	年間を通して、指導・実行できている。
②過負荷や過積載をしない	○		
③適切な重機・車両の整備（空気圧、オイル交換等）	○		
④頻繁な重機回送をなくし効率の良い使用を行う	○		
⑤重機及び特殊車両以外のディーゼル車の廃止	○		

ガス使用量の削減

①最小限の使用量を目標に計画を策定する	○	永田涼司	年間を通して、指導・実行できている。
②給湯器の温度を上げすぎない	○		
③ガス使用機器の定期的な清掃	○		

産業廃棄物再資源化率の向上

①適正なマニフェストの管理	○	野上修司	年間を通して、指導・実行できている。
②適正な在庫管理	○		
③廃棄物の分別を徹底	○		

一般廃棄物再資源化率の向上

①一般のプラスチック製品の購入を減らす	○	永田涼司	年間を通して、指導・実行できている。
②再利用しやすい製品の購入促進	○		
③廃棄物の分別を徹底	○		

水使用量の削減

①最小限の使用量を目標に計画を策定する	○	永田涼司	年間を通して、指導・実行できている。
②現場での飲用水以外の水は極力雨水等を使用する	○		
③乾式手洗いの導入	○		

環境経営に配慮した施工

①振動・騒音の抑制に務め苦情を受けない	○	野上修司	年間を通して、指導・実行できている。
②燃料消費量の少ない重機や機械を使用する	○		
③再生資源の材料を優先利用する	○		

社会貢献への参加

①ボランティア活動の積極的な参加	○	野上修司	年間を通して、指導・実行できている。
②工事現場周辺の自治区への地域貢献	○		
③SDGsの取り組みの参加	○		

環境経営関連法規登録簿／遵守評価記録

遵守評価実施日	令和6年7月31日
評価者	永田 涼司
確認者	野上 修司

法令等の名称	当社に適用される要求事項	対象設備・施設	評価時期	確認方法	確認結果
--------	--------------	---------	------	------	------

廃棄物処理法	・ 産業廃棄物の保管基準	一般廃棄物 産業廃棄物	日常点検	現物監視	適
	・ 産業廃棄物の委託基準		毎年8月	委託契約書	適
	・ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）		毎年8月	マニフェスト	適
	・ 産業廃棄物管理票交付等状況報告		毎年8月	届出控	適
	・ 産業廃棄物処理計画及び実施報告		毎年8月	届出控	適
	・ 収集運搬車の表示		日常点検	現物監視	適
資源有効利用促進法	・ 特定再利用業種	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等	毎年8月	マニフェスト	適
	・ 指定副産物		毎年8月	マニフェスト	適
建設リサイクル法	・ 建設工事の事前届出（公共工事）	各工事現場	各工事毎	計画届出控	適
騒音規制法	・ 特定建設作業の届出（対象公共工事）	各工事現場	各工事毎	届出控	適
振動規制法	・ 特定建設作業の届出（対象公共工事）	各工事現場	各工事毎	届出控	適
排出ガス対策型建設機材の指定に関する規定	・ 対象事業が公共工事の場合	建設機械	日常点検	ステッカーの確認	適
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	・ 対象事業が公共工事の場合	建設機械	日常点検	ステッカーの確認	適
道路交通法	・ 道路使用の許可（対象公共工事）	各工事現場	各工事毎	届出控	適
道路法	・ 道路占用の許可（対象公共工事）	各工事現場	各工事毎	届出控	適
道路運送車両法	・ 日常点検整備	所有車	日常点検	現物監視	適
	・ 定期点検整備		毎年8月	車検証	適
浄化槽法	・ 設置等の届出	各工事現場	各工事毎	建築確認申請書控	適
フロン排出抑制法	・ 業務用エアコン等の定期点検	各事務所	毎年1月、4月、7月、10月	点検表	適
大気汚染防止法	・ 石綿含有建材調査結果の報告	各工事現場	各工事毎	gBizID登録	適

※法違反・指導なし。

※苦情なし。

代表者による全体評価と見直し結果

実施日： 令和6年7月31日

環境経営情報

環境経営管理責任者の所見

代表者のコメント

1	環境経営関連法規等の遵守状況確認結果	問題なく対応・実行できている。	継続し実施すること。
2	環境経営目標の達成状況	自社施工による軽油の消費が顕著であり環境における目標は達成できなかったが経営面では効果があった。	継続し実施すること。
3	環境経営計画の実施状況	問題なく対応・実行できている。	継続し実施すること。
4	問題点の是正、予防の状況	定期的に会議を開催し協議・対応できている。	継続し実施すること。
5	外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし。	継続し実施すること。
6	環境経営上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	定期的な訓練はできており今後も継続する。	継続し実施すること。
7	その他	今後も状況に応じて環境と経営のどちらを重視するべきかを定めたうえで目標達成に向け取り組んでいく。	継続し実施すること。

見直しの必要性判断と代表者の指示内容

①環境経営方針	継続する。
②環境経営目標	継続する。
③環境経営計画	継続する。
④環境経営システム	継続する。
⑤実施体制	継続する。
その他の指示	目標を達成するには様々な問題が生じるが、社員全員がひとりも洩れることなく情報共有し同じ方向性をもって活動できる取り組みをお願いします。